



第 16 号 令和7年3月1日

# 地域づくりの会



181人もの大勢のご参加をいただいた今年の第25回大会は、元旦の青空のもと新年への期待に溢れるお顔がいっぱいでした。参加者は個人・家族・グループと様々で、マラソン7kmは青、マラソン5kmは黄色、ウォーキングはオレンジ色のタスキを掛け、開会式会場からスタート。

この大会は順位やタイムを競わないため各自のペースで進み、途中の神社では初詣する人も多く、ゴールでは皆さん達成感の笑顔でした。お正月の桜茶もいかがだったでしょうか。

(公民館活動推進員 小宮山)

元日マラソン  
ウォーキング

大勢の皆さん、  
ご参加ありがとうございました

## 参加者の声

### 《マラソン5km》

- ◆両親と参加(小2)。去年より速く走れて気持ちよかった。
- ◆今年は結婚20周年で良いスタートになった。

### 《マラソンチャレンジ7km》

- ◆お友達と昨年から参加。白鳥神社と縣諏訪神社の両方に参拝できるのもこのマラソンの魅力。
- ◆初めて走ってみた。コースで応援もしてもらえて気持ちよく走れた。
- ◆普段は中央公園で走っているが、皆で走れるのはとても嬉しい。

### 《ウォーキング》

- ◆母のお腹にいるときからずっと参加(中1)。気持ち良さとみかんを期待して最後まで頑張って歩いた。
  - ◆足を痛め今年はマラソンからウォーキングに変更。誰でも参加できるコースがあって嬉しい。
- (取材：公民館活動推進員 坂口)





## 田中まちなかハロウィン

子供たちが待ち望んでいたハロウィン。参加者の仮装が例年以上に工夫され、子供たちはすまし顔で胸を張って歩き、一緒の大人も幸せ一杯の笑顔でした。子供たちは大きな声で合言葉を言ってお店の人から様々なお菓子をもらい、どの子の袋も満杯になりました。沿道には楽しいBGMも流れ、パンプキンマンと一緒に歩いたり、最高の笑顔が溢れる活気ある田中商店街になりました。最後になりましたが、車の流れが激しい道路で子供たちの安全を守ってくださった安協の皆さんに心から感謝申し上げます。（公民館活動推進員 山岸）



10/21 保育園の日 みんなでタッチ！



10/19 オバケさんたちへ ハイどうぞ



### 【ご協力いただいたお店の方から】

小林時計店さん

#### ハロウィン（万聖節）には黒猫が似合う！

楽しいハロウィンといえば、お菓子・オバケ・かぼちゃランタン、それから黒い猫。「お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ」「それは大変！好きなものをどうぞ」なんて子供たちと楽しいひととき。みんなは良い思い出を作れたかなあ。

うちには7人の猫がいます。お店によく居るのはいたずら者でちょっとラグドール風の「ふわちゃん」。「しまちゃん」は欲張りのしま猫だよ。お年寄りの「はなこ」。白黒のぶち猫にも会えるよ。でも猫たちは子供たちが苦手なんだ、すぐに物陰に逃げ込むよ。

お店の入り口付近で水槽で暮らす蝶や魚を見つけた人もいます。「これなあに」「ジャコウアゲハ、キアゲハ、ナミアゲハ、魚はハヤとフナ」ととても気に入った子供もいたようです。子ども達が身近な自然に触れ合える機会が増えるといいなあ。



お孫さんも仮装でお菓子配りをお手伝い

### 【ご協力いただいたお店の方から】

高木屋さん

今年も大勢の子供さんご家族が来てくださって賑やかなハロウィンでした。

土曜日の2時間を楽しんでほしいと思い、のぼり旗・かぼちゃ・店入口の飾りつけ等準備していました。心配した天気は雨降りでなく助かりました。

次々とやってくる仮装した子供たちの「トリックオアトリート」の元気な合言葉に、「ハッピーハロウィン」とか「仮装すごいね！」などと声掛けしてお菓子を渡すと、笑顔で「ありがとう」とお礼を言ってくれ楽しいひと時でした。

街の中が賑やかで明るい雰囲気になりました。来年もまた出来たら良いなと思います。



7/27 大人と一緒に夏休みの工作と宿題



子ども達も  
いろいろ経験できたかな



11/3 両方ともガンバレ！

## 子どもサロン

今年は5年ぶりの開催。夏休みの小学生の宿題・工作の場や交流の場として行いました。宿題は龍野校長先生に協力いただき、工作は大人も手伝いながら製作。その後は、風船遊びに夢中で頭と体を使い楽しみました。

お昼には、色々な具材から自分好みのおにぎりを作って食べたり豚汁を食べ、子ども達は自分で握るのは初めてでとても美味しく楽しかったと話していました。



おにぎり作り。何コ食べた？

## 海野宿子ども相撲大会

海野宿ふれあい祭りに合わせて白鳥神社の土俵で相撲のとりくみ。

子ども達の真剣な勝負に周囲の大人から大きな声援がおくられました。

子ども達は景品のおもちゃ選びも真剣でしたよ。



## 田中っこフェス

田中小の田中っこフェスで、育成会は「射的」を担当。割り箸で鉄砲を作り、飛ばした輪ゴムで的を倒すゲームです。大人に教わって作ったマイ鉄砲で的を倒した子も。倒した合計の高得点をねらい、大盛り上がりしていました。

(青少年育成部会長 西澤)



10/26 射的コーナー ねらって～

12/22 臼の真ん中ねらうの難しい！



## 餅つき大会

恒例の臼と杵での餅つきを、寒風が強かった今年は田中小体育館で実施。おやじの会が用意した餅米を子どもがついて、地域の大人があんころ餅やきなこ餅に。自分たちでついたお餅をお腹いっぱい食べたようでした。

地元県区の開催でしたが今まで住んできても初めて知ることもあり、それこそ「へえ〜」と感嘆しました。一番印象に残ったのは長坂地域の遺跡現場でした。

長坂地域の遺跡は埋め戻されたため現在見ることはできませんが、写真で発掘当時の説明を聞き、自分の住んでいる県という地名との関係に想像が膨らみました。

地域の歴史を知ることが自分を知ることにつながると思います。半日という短い時間でしたが、身近で自分探しの旅をした気分になりました。

(県区 田中分館長)



ふるさと散策経路図



くらがわり 10/5 蔵替遺跡。平安時代の役所跡か。

### 7/28 地域防災と災害時の対応学習会



避難所でもできる血栓予防の運動を学んだ

### 9/26 田中地区健康づくり学習会



保健師から食のアイデアを学んだ

今年、地域の地域づくりの会は、地域ビジョンの見直しを課題として一年間取り組み、松本大学の向井先生の講演会も行いました。改めて田中地区は、市役所・駅・商店街・金融機関や学校など市の中心的な施設が集まり、海野宿という観光地もある、とても住みよい地域だと思っています。

今後、子供から高齢者まで交流できるイベントや、観光地・商店街に人が集まるイベントを企画し、魅力ある田中地区を目指し活動していきます。

一年を振り返って  
会長 芦田 高英

### 8/17 地域ビジョンを考える講演会



### 編集後記

「ぼくのこと、わかりますか？」マラソンのタスキを手にした若者に声を掛けられました。田中小学校で学校応援団として触れ合ったN君でした。来年は高校受験なので頑張って走りたいと元々マラソン・ウォーキングに参加してくれたのでした。

地域づくりの行事ではその都度、懐かしい人の再会があり、また新しい出会いが沢山ありました。「人と人とのつながりこそ誰もがでできる地域づくり、この思いを強くいたしました。一年間のご協力に深く感謝いたします。」(副会長 栗原)

田中地区地域づくりの会事務局  
中央公民館  
電話 75-5506